

平成29年度7月6日  
情報統括センター  
CSIRT

各位

## 退職者/卒業生などから引き継いだLinux機の脆弱性について

トレンドマイクロ社のLinux用のセキュリティソフト ServerProtect for Linuxについて、影響度 “高” の脆弱性が6月29日に公開されました。トレンドマイクロ社では修正プログラムを公開し、適用を推奨しています。

<https://esupport.trendmicro.com/solution/ja-JP/1117452.aspx>

本学ではトレンドマイクロ社との包括契約を結んでいるため、上記ソフトウェアは多くの教員、学生に利用されております。情報統括センターCSIRTでは把握できる範囲で学内のユーザに、上記修正プログラムを適用するよう通知させていただいております。

しかしながら、包括契約により上記ソフトをダウンロードした利用者が卒業/退職などによって岡山大学を離れた後、機器だけが別のユーザに引き継がれて学内で使用されている可能性があります。このような場合は、当センターで機器の所在を追跡することが困難です。

また機器の利用者が表記ソフトを利用している意識が薄く、脆弱性に気づかないまま使用され続ける恐れがあります。

つきましては、皆さんの周囲で卒業生、退職者などが残していかれたLinux機を使用していらっしゃる場合は、ServerProtect for Linux がインストールされていないかどうか確認をお願いいたします。もしインストールされて利用されていた場合は、上記URLで公開されている修正モジュールの適用をお願いいたします。

この脆弱性の影響で、中間者 (man-in-the-middle) 攻撃によって、不正なファイルをダウンロードさせられたり、不正なプログラムを実行させられたりする可能性があります。結果として、任意のコードを実行される可能性があるかと伝えられております。危険度は “高” に位置付けられておりますので、是非とも放置なさらないようお願いいたします。

情報統括センター CSIRT  
e-mail: security-t@okayama-u.ac.jp  
連絡先(内線)：津島 7104,7108  
鹿田 7075